

Web に関する当面の活動(案)

(寿都ファンクラブ)

2003.7.30

1. 8/1の目標

地域の活動主体との協力関係構築

- (1) キーマンとのコンタクト
 - ・意見交換、今後に向けて協力的関係を構築したい。
- (2) Webサーバーの確保について意見交換
 - ・Webサイトの設置箇所について意見交換したい(結論はなくてもよい)。
- (3) 活動の主体についての意見交換
 - ・「寿都パソコンサロン」など
 - ・“コンテンツを作る”から“コンテンツが発生する活動を興す”へ。
 - ・“コンテンツが次のコンテンツを発生させる”という連鎖を作り出すことの必要性について。
- (4) 8/23～24の活動の打合せ

2. Webサイトの立ち上げ(8/1以降の取り組み)

(1) Webサイトの位置付け

Webサイトの「性格」、「目的」、「位置付け」はキーマンとの連携の中で明確化していくが、当面は、分科会側の以下の思惑で進める。

- ・寿都ファンクラブ的な色合い、各種活動の成果をコンテンツ化。
- ・小規模であれば、ビジネスの場としての利用も可としたい。
- ・個人からの情報発信の場としても開放したい。
- ・“歯止め”としては、当面は分科会のジャッジを優先する。

(2) サーバーを借りる場合の制約事項

- ・資金的な裏付けが必要。当面は無償提供者を探す。
- ・サーバーを借りる場合、サーバーの使用契約者には専用のディレクトリが割り当てられており、その下にサブディレクトリを作って我々のコンテンツを収容することになるので、貸主がわかってしまう。そのため、貸主への配慮が必要。

例えば、技術士会のサーバーに収容する場合

<http://www.ipej-hokkaido.jp> 支部・センターのトップページのURL

<http://www.ipej-hokkaido.jp/~chiikikasseika/> 間借りした場合の分科会のトップページURL

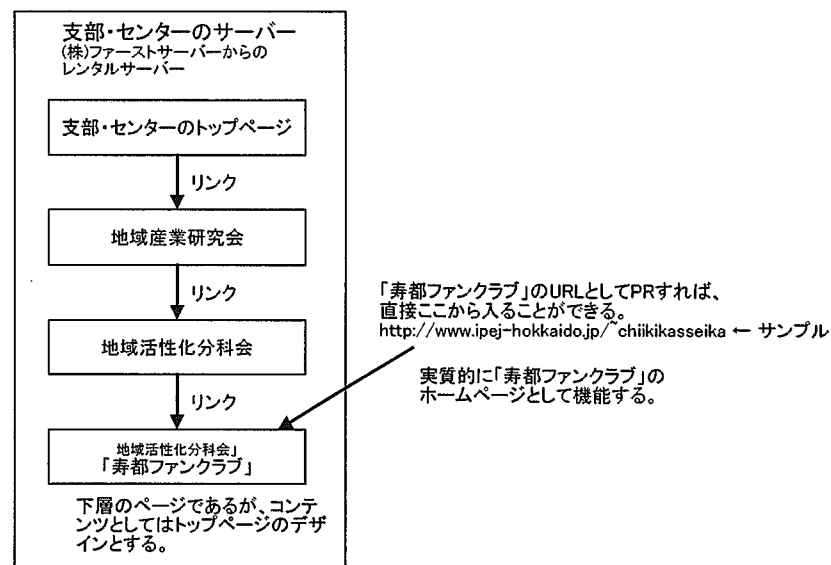
(3) サーバーを無償で借りる場合の貸主候補

(a) 「しりべし i ネット」のサーバー

- ・サーバーの借用を打診するのは時期早尚との認識(7/14)。
- ・借用したとしても運営主体のスタンスが我々のコンセプトと合うかどうかは不明。

(b) 技術士会のサーバー

- ・独立のコンテンツとして収容することは困難。
- ・但し、地域産業研究会の下に地域活性化分科会のページを作り、さらにその下に「寿都ファンクラブ」のページを作って、地域産業研究会の取り組みとして期間限定で掲載するのであれば可能と思われる。
- ・この場合、トップページのどこかに運営主体が「地域活性化分科会」であることを(小さく)明示する。



- (c) 町のコンテンツを収容しているサーバー
- ・“町”のサーバーであることによる利用上の制約を考慮する必要がある。“制約”とは個人的なビジネスへの利用など。
- (d) その他のスポンサー
- ・企業等。
- (4) 町の活動への参加
- ・機会を捉えてできるだけ参加し、“情報”収集する。
- (5) “情報”とは
- ・写真(利用場面・方法を意識して撮影)
 - ・パンフレット等の資料(当日配布、役場、道の駅等で広く収集)
 - ・メモ、記録
 - ・できれば録音も(部分的でOK、Webで利用できるかも)
- (6) “情報”の整理と活用
- ・上記活動で得られた情報をコンテンツ化してホームページに掲載する。
 - ・コンテンツの“考え方”、“形態”、“デザイン”等については、それぞれの活動実施主体と打合せの上決定する。
 - ・独自のコンテンツを作成する活動主体があった場合はコンテンツ相互の関係を調整し、それぞれ独自性のある形で掲載する。

文責 小野 孝

寿都の地域情報を集約するインターネットサイトについて(案)

■目的

- ・寿都の住民と寿都を何らかのよりどころとする人たちの交流を通じて町の活性化を図ること。
- ・町の歴史や自然、人の活動に関する情報を共有し、人々の交流を通じて持てる知恵を結集し、それを寿都の活力に結びつけること。

■地元情報の扱い方

◇対象とする情報を絞込む

- ・絞り込んで、深く、多く → 広く薄くではインパクトがない。
- ・情報の質を高める → 情報の深さ＝思い入れ＝本格度
- ・わかりやすい存在 → “存在感”を大切にする

◇固定的な情報と変化する情報のバランスをとる

①固定的な情報

- ・歴史、記録、地理地勢情報、経済活動、各種諸元情報
- ・「役に立つ情報」にする。具体的、詳細、正確。
- ・寿都に関する情報を募集して掲載(全国から募集)
 - ー全国の図書館等にある寿都に関する資料等の紹介など
 - ー「～～本の何ページに寿都に関する～～の記載がある」など

②変化する情報

- ・こよみ、投稿、掲示板、イベント情報
- ・「変化が感じられる」いきいきとした情報。

◇住民参加(道外で暮らす寿都出身者も含む)

①投稿

②掲示板

③イベント

■地元情報の提供主体

◇情報の発信主体(サイトの運営者)の条件

①役場からの情報発信には限界がある

- “公平”を維持しなければならない立場の制約
- “民業圧迫”をさげなければならない制約

②一切の既得権益や制約からの開放

- ・「目的」のみを唯一の制約とする主体による運営
- ・いろいろな意見を持つ人の受け皿になりえる立場
- ・ただし、透明な存在ではなく、「目的」をよりどころとする基準によって掲載コンテンツを振るいにかける意思を持つ

②存在感のある主体

- “目的”をアピールし、運営主体の存在を肯定的なものに維持する。

◇「寿都ファンクラブ」がサイトの運営主体となる。

- ・会員制、会費無料
- ・「目的」に同調する者に制限なく門戸を開く。
- ・ホームページ運営委員会がコンテンツの管理をする。
- ・ボランティアベースの活動(とはいえ一定の費用は発生するかも)。

◇情報の発信主体(個々情報の発信者・著作者)

- ・情報を発信したいと思う(義務ではなく希望を持つ)団体、個人
 - ー自発的な動機を持たない情報は継続しない。→陳腐化(役所が発信する情報が典型例)
- ・情報を発信したいと思う動機(継続するためのエネルギー)
 - ービジネス
 - ー自己実現(趣味など)
 - ーボランティアとしての地域活性化活動

■想定する地元情報の利用者

◇町外の人々

- ・寿都に出かけようとしている人(実際に出かける人)
- ・寿都に行きたいと思っている人(実際に行動を起こさ(せ)ない)
- ・寿都にいったことのある人

- ・寿都にゆかりのある人
- ・ビジネスの関係で寿都の情報を得たい人
- ・その他の人(趣味、研究、教育のための情報収集など)

◇町内の人々

- ・住民活動の手段としての利用(連絡、周知、発表など)
- ・町内のビジネスの手段としての利用
- ・自己実現の手段としての情報発信(発表など)

■情報発信の方法

◇コンテンツ管理運営主体への投稿

- ・紙やメディアで投稿、管理運営主体がコンテンツ化して掲載
- ・公共情報の提供(コンテンツ化して提供)

◇コンテンツの直接追加更新

- ・自らコンテンツを作成してFTP等による直接追加・更新(技術を有する人)
- ・掲示板への書き込み(インターネット接続されたパソコンが必要)
- ・FAX発信が自動的にコンテンツ掲載されるシステム
 - ーFAXのみあればパソコンも不要、サーバー側に専門のソフトが必要、コスト負担増
 - ー町内のコミュニケーション(“本日4時から3割引き”など)
- ・携帯電話(現実的ではないが新しい形態)

■コンテンツ中心の活動

◎固定的な情報

◇町の歴史

- ・町の文化財を掲載(資料的な整理)
 - ー写真
 - ー資料をテキスト化して掲載
 - ー紹介文(専門家の文が望ましい)
- ・文化財の紹介
 - ー写真の投稿(“四季折々の文化財”など)
 - ー感想文等の掲載(児童参加など)
 - ー学識経験者の寄稿文掲載

◇町の自然

- ・海の自然
 - ー海岸線の地図、主要ポイントの拡大地図
 - ー海岸に咲く花
 - ー釣り場案内
 - ー海の幸、つれる魚、食べ方
 - ー夕日(鑑賞ポイント、季節ごとの日没時刻)
 - ー海の写真集(投稿写真、プロの写真)
- ・川
 - ー寿都の川の紹介(地図、落差を図で、地図のポイントと写真の対象)
 - ー砂金(歴史、採り方、ありそうな所)
 - ー化石
 - ー川辺の花
 - ー沢(釣りの対象として)
- ・山
 - ー寿都の山の紹介(地図、断面図、地質)
 - ー山の植物の紹介
 - ー登山コースの紹介(ハイキングコース、廃道)
 - ー山の写真(投稿含む)
 - ー山菜の紹介(あるところ(植生)、採り方、食べ方、写真)
 - ー季節ごとのみどころ(秋、冬、撮影スポット)
 - ー地図と写真のマッチング

◇町の道路

- ・目的
 - ー外から来る人たちのための情報
 - ー“いつか行ってみたい”と思っている人たち向けの情報
- ・掲載する情報

- ー道路地図
- ー道路の走りやすさ(幅員、舗装/非舗装、冬季間の除雪状況)
- ー主要ポイントの写真(数キロに1枚)
- ー道路標識の写真
- ー食事、トイレ
- ー主な景色(季節ごとのみどころ、夕日のきれいな場所、撮影スポット)
- ー投稿情報
- ー駐車場(駐車等、休憩・仮眠等)

◇町の施設

- ・目的
 - ー外から来る人たちのための情報
 - ー“いつか行ってみたい”と思っている人たち向けの情報
- ・掲載する情報
 - ーコンビニ、買い物
 - ー休憩施設
 - ー宿泊施設
 - ー歴史建造物、遺跡
 - ー観光スポット

◇町へのアクセス情報

- ・目的
 - ー外から来る人たちのための情報
 - ー“いつか行ってみたい”と思っている人たち向けの情報
 - ー東京から、札幌から、その他の地域から
- ・空路
 - ールート
 - ーダイヤの例(最新には維持せず)
 - ーダイヤの最新情報への直接リンク
- ・JR
 - ールート
 - ーダイヤの例(最新には維持せず))
 - ーダイヤの最新情報への直接リンク
- ・バス(長距離バス、観光バス)
 - ールート
 - ーダイヤの例(最新には維持せず)
 - ーダイヤの最新情報への直接リンク
 - ー問合せ先
 - ー乗り場情報(地図、写真)
- ・町の中でのバス
 - ー地域内の交通
 - ー時刻表(最新には維持せず)
 - ー乗り場の地図と写真

◎変化する情報

◇歴史

- ー投稿情報(町の歴史発見、投稿文、写真、取材)

◇自然

- ・釣果投稿(自慢情報、写真、文)
- ・海の写真投稿
- ・“自然発見”投稿、写真、文
- ・登山報告の投稿(紀行文、感想文、写真)
- ・街で見つけた“花”の投稿(写真、感想文)

◇町の道路

- ・道路の情報(通行止め、事故、障害など)
- ・道路からの景色(投稿)

◇経済活動

- ・“お買い物情報”、特売情報
- ・イベント情報(“XX放題”など、日時限定のお買い得情報など)

◇町民活動

- ・会員募集(団体)
- ・イベントの案内
- ・売ります買います
- ・お願い(迷子のペット捜索など)

◇寿都出身者の情報

- ・掲示板
- ・近況の投稿(写真、文、匿名基本)

◇イベント

- ・「海の絵」募集、夏の期間、子供たちの絵を募集、秋に発表(札幌、東京で)
- ・「海の写真撮影会」プロを招待し、“朝日の出”、“夕日”の写真撮影会と指導会を開催
- ・各種イベントと当サイトの連携

■コンテンツ作成と維持

◇レンタルサーバー

- ・一般的には年間10万円程度
- ・eグループ等の無料サイトも活用可能(存在感が少し薄くなるかも)
- ・メールアドレス発行無制限
- ・現存する又は計画中のサイトとの協調関係構築は可能か(今後の課題)

◇コンテンツ作成

- ・初期フレーム作りはプロへの委託が望ましい(費用はピンきり、10～300万円)
 - ー委託なしでもボランティアで可能か(今後の課題)
- ・フレーム以外の初期コンテンツ作り
 - ー素材の調査(調査依頼)
 - ー取材(借用、写真撮影、文章入手)
 - ー処理(スキャナー等の写真処理、テキスト化)
 - ーHTML化
 - ーWeb掲載(FTPアカウント、権限、ディレクトリ管理)
- ・更新と追加はボランティア活動(作業内容は上記初期段階と同じ)
- ・ファンクラブ有志と地元有志による活動
 - ー投稿の受け付け、審査チェック、事務処理等の作業
 - ー審査チェックの方法、遠隔地間での調整(今後の課題)
 - ーあらかじめ定めたガイドラインでそれぞれ平行して作業するか
- ・編集、翻案、コンテンツ化(スキャナー、ソフトなど)、パソコンのインターネット環境など

2003.6.10

北海道技術士センター

地域産業研究会 地域活性化分科会